

あいち農産物生産流通レポート

2025年4月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 2025年度愛知県産地交付金について	(園芸農産課) 1
◎ 東日本情報	
・ 国際食品・飲料展の輸出関連ゾーンに本県企業が多数出展しました	(東京事務所) 3
◎ 西日本情報	
・ 社員・学生食堂における県産農林水産物のメニューフェアについて	(食育消費流通課) 4
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し	8
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の4月の見通し(県内市場)	20

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

2025 年度愛知県産地交付金について

園芸農産課

1 産地交付金の概要

産地交付金とは、食料自給率向上を目的に、水田における主食用米以外の作物栽培を推進するための水田活用の直接支払交付金に係る支援策のひとつであり、地域の作物振興の設計図となる「水田収益力強化ビジョン」に基づき、特色ある魅力的な産地づくりに向けた取組を支援します。水田収益力強化ビジョンは県と各地域農業再生協議会がそれぞれ作成しています。

2 水田活用の直接支払交付金の交付申請手続き等について

交付対象者は販売農家又は集落営農であり、交付申請者は生産年の6月30日までに交付申請書を地方農政局又は地域農業再生協議会へ提出します。

3 2025 年度愛知県産地交付金について

「2025 年度愛知県水田収益力強化ビジョン」では以下の12の取組を独自に支援します。

(1) 小麦品種「ゆめあかり」の作付推進

小麦品種の需要と供給のバランスの取れた栽培体系を目指すため、実需からの要望が強い小麦品種「ゆめあかり」の作付に対し支援します。

(2) 麦類の先進技術の取組（カットドレーン）

麦類の収量の高位安定化を目指すため、先進的な排水対策技術であるカットドレーンを用いた排水対策を実施した麦類の作付に対し支援します。

(3) 大豆の先進技術の取組（カットドレーン）

大豆の収量の向上・安定化を目指すため、先進的な排水対策技術であるカットドレーンを用いた排水対策を実施した大豆の作付に対し支援します。

(4) 大豆の生産安定

大豆の収量向上・安定化を目指すため、①土壌改良剤の散布、②排水対策（暗渠）の実施、③殺虫剤の散布（鱗翅目類）の3つの取組のうち1つ以上の取組を行った大豆の作付に対し支援します。

(5) 飼料用米の作付推進

需要に応じた米生産を推進するため、直播栽培や土づくり（堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用）等の8つの取組のうち1つ以上の取組を行った飼料用米の作付に対し支援します。

(6) 米粉用米の作付推進

小麦代替として注目が集まっている米粉用米の作付を推進します。直播栽培や

土づくり（堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用）等の8つの取組のうち1つ以上の取組を行った米粉用米の作付に対し支援します。

(7) 飼料用米の複数年契約

飼料用米の安定的な供給のための複数年契約（2024年産からの3年間以上の契約）の取組に対し支援します。

(8) 米粉用米複数年契約

米粉用米の安定的な供給のための複数年契約（2023及び2024年産からの3年間以上の契約）の取組に対し支援します。

(9) 稲WCSの作付推進

輸入飼料価格の高騰による国産飼料の需要の高まりを受け、稲WCSの作付を推進します。直播栽培や土づくり（堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用）等の5つの取組のうち1つ以上の取組を行った稲WCSの作付に対し支援します。

(10) 飼料用とうもろこしの作付推進

輸入飼料価格の高騰による国産飼料の需要の高まりを受け、需要者との利用協定を締結した飼料用とうもろこし（子実用とうもろこし、青刈りとうもろこし）の作付に対し支援します。

(11) 牧草の作付推進

輸入飼料価格の高騰による国産飼料の需要の高まりを受け、需要者との利用協定を締結した牧草（ソルゴー、イタリアンライグラス、エンバク）の作付に対し支援します。

(12) 新市場開拓用米複数年契約

新市場開拓用米の安定的な供給のための複数年契約（2024年産からの3年間以上の契約）の取組に対し支援します。

注. 各メニューは国からの計画認定前の内容ですのでご注意ください。2025年度水田収益力強化ビジョンの詳細については、各地域農業再生協議会へお問い合わせ下さい。

国際食品・飲料展の輸出関連ゾーンに本県企業が多数出展しました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

アジア最大級の食品・飲料展示会「FOODEX JAPAN 2025（第50回国際食品・飲料展）」が2025年3月11日（火）～14日（金）に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。

1 本展示会には世界各国の企業が出展

FOODEX JAPANは、1976年から毎年開催されており、50回目の今回は、世界74か国・地域から食品、飲料メーカー、商社など2,930社/3,738ブース（国内949社/1,354ブース、海外1,981社/2,384ブース）が出展し、来場者数は72,151名となりました（主催者発表）。会場内の出展内容は多岐に渡り、25の出展ゾーン【※1】に分かれていました。



多くの来場者で賑わう会場

【※1】出展ゾーンの内訳：農産、水産、畜産、調味料、加工食品、輸入食品、オーガニック、ヘルスケア、代替食・食品素材、ドリンク&アルコール、スイーツ&スナック、全国食品博、食品安全対策展、にっぽん食輸出展、日本酒パビリオン、海外ナショナルパビリオン、FOODEX Frozen加工食品、FOODEX Frozenスイーツ、FOODEX Frozen FRESH FOOD、FOODEX Frozen機械技術、FOODEX Frozen日本の地域産品・世界のローカルフード、FOODEX WINE、FOODEX TECH、情報・サービス、食肉産業展

2 本県企業は輸出関連ゾーンに多数出展

本県企業（本県に本社を置く企業）の出展については17ブース【※2】ありました。出展数は「にっぽん食輸出展」ゾーンが計11ブースで最も多く、各企業に売上全体に占める輸出割合を伺ったところ、「4割程度である」、「数%であるが、伸びしろがある」など様々でした。いずれも輸出拡大に意欲的で、海外バイヤーとの商談を期待する声が聞かれました。



本県企業の出展ブース事例

【※2】出展ゾーンとブース数：調味料=1、スイーツ&スナック=1、にっぽん食輸出展=11、食肉産業展=4

3 輸出関連セミナーについて

会場では開催4日間で計68の講演会とセミナーが開催され、3月11日（火）に取材した「日本食品・農林水産物の輸出先としての香港～その市場性と波及効果」（講師：香港貿易発展局東京事務所長 伊東正裕氏）では、以下の内容が紹介されました。

- ・香港は世界第2位の輸出先である（2024年数値、農林水産省調べ）。
- ・香港の人達は日本への好感度が高い（「大好き」64.8%、「好き」33.3%、2024年数値、民間会社調べ）。このため、香港市場への輸出は伸びしろがある。
- ・香港はアジアのマーケットニーズを熟知し、多言語を扱う有能な人材を保有しており、各地域の規制にも詳しいため、国際市場との仲介役を果たしている。このため、香港へ輸出することで、日本独自のノウハウや文化をグローバル化できることが期待される。

今回の展示会は70,000人以上の来場者がありました。海外からのバイヤー等は2割程度が見込まれており、出展した本県企業の輸出拡大が一層進むことが期待されます。

社員・学生食堂における県産農林水産物のメニューフェアについて

食育消費流通課

本県では、県民の方々に地産地消の浸透と定着を一層促していくため、「SDGsへの貢献」を前面に押し出したキャンペーンを、関係者が一体となって2022年度から展開しています。

この度、若い世代や働き盛りの世代へのプロモーションにより、本県農林水産業への理解を深めていただくため、新たに、企業や大学の食堂と連携して県産農林水産物を使用した料理を提供するメニューフェアを実施しました。

1 メニューフェアについて

モデル店舗として、2企業の社員食堂（22か所）と2大学の学生食堂（3か所）と連携し、社員食堂では県産農林水産物を使用した日替わりメニューを、学生食堂では学生が県産農林水産物を選定し、レシピ開発したメニューを提供しました。

(1) 連携先及び期間

区分	連携先	所在地	食堂数	期間
社員 食堂	株式会社デンソー (本社・県内6事業所)	刈谷市、日進市、安城市、 西尾市、豊橋市	20か所	9月16日(月・祝) ～10月11日(金)
	碧海信用金庫 (本店本部・事務センター)	安城市	2か所	10月15日(火) ～11月8日(金)
学生 食堂	南山大学	名古屋市昭和区	2か所	10月15日(火) ～11月15日(金)
	愛知学院大学 (名城公園キャンパス)	名古屋市北区	1か所	

(2) 取組の内容

各食堂では、県産農林水産物を使用した地産地消メニューの提供に加えて、本県独自の地産地消の取組である「いいともあいち運動」のPR展示を行いました。

また、知事によるPRとして、9月16日に株式会社デンソー、10月29日に碧海信用金庫で企業の役員・理事や若手の職員とメニューの試食・歓談を行い、マスメディアを通じて地産地消や県産農林水産物の魅力を発信しました。



地産地消メニュー



マスメディアを通じた知事PR

(3) 連携先及び食堂利用者の反応

地産地消メニューの提供食数は延べ4万5千食を超え、普段の食生活を通じてSDGsに貢献できる行動として、地産地消をPRすることができました。

また、食堂利用者を対象に行ったアンケート調査において、「地元の農林水産業に対する理解が深まった」、「愛知県産の食材を積極的に取り入れたい」といった声をいただくなど、企業や大学と連携して地産地消の機運を高めることができました。

一方で、県産農林水産物の安定的な利用に向けては、食材調達に係るコストや現行の流通システム等への影響が懸念されているため、県産農林水産物を積極的に扱う事業者相互のネットワーク強化を一層促していく必要があります。

(4) 関連の取組

県産農林水産物及びその加工品の購入を促進するために、デジタルスタンプラリーを、2022年度・2023年度に続いて実施しており、メニューフェアの連携先でも併せて実施し、PR効果を高めました。

2024年度は、県産農林水産物を積極的に取り扱う飲食店や販売店等478店舗の協力を得て、延べ1万9千人以上に参加いただくなど、例年を上回る盛り上がりが見られました。



デジタルスタンプラリー（Web広告、実施状況）

2 2025年度の取組

さらに広く県民に地産地消の理解を一層深めるために、2024年度に好評を得た「メニューフェア」や、年々参加者が増加している「デジタルスタンプラリー」などについては、働き盛りや若い世代に向けたプロモーションの強化を図りながら、継続して実施します。

また、県民自ら情報発信をしてもらうきっかけを作るため、新たに「地産地消レシピコンテスト」を開催するなど、県民が日常的に県産農林水産物等を購入する機会や主体的に情報配信を行う機会を創出し、普段の食生活の中でSDGsの達成にも貢献する地産地消を推進します。



「そのひと口が応援になる。」

愛知県は、地産地消の取組を通じて「いいともあいち運動」を推進しています

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋市中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2024年実績	1,280	604 (47%)	347	愛知(47%) 静岡(41%) 茨城(5%)
2025年見通し	1,200	—	370	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
【概要】 愛知、静岡を中心に入荷する。作付面積は減少しており、給食需要により引き合いが強く、高値推移となる見込み。 【見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△6.3%) 価 格：前年をかなり上回る。(6.6%)		愛知県産の品質は良好であるが、近年の夏場の酷暑により傷みが出やすいため、品質の維持をお願いしたい。 今後も栽培面積の維持と、安定出荷をお願いしたい。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：さやえんどう）※

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2024年実績	1,655	314 (19%)	1,345	鹿児島(29%) 愛知(19%) 福島(9%)
2025年見通し	1,650	—	1,350	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
【概要】 鹿児島は序盤に入荷の遅れがみられたが、天候に恵まれ生育順調。愛知は気温・降雨・日射量はいずれも十分で、大きな病害の発生もなく生育順調。このため、4月は安定した入荷が見込まれる。 【見通し】 入荷量：前年並。(△0.3%) 価 格：前年並。(0.4%)		きぬさやえんどうの「紅姫」は、品質面での信頼が高く、愛知県産のブランドとなっている。今後も他県産と比較して有利販売が継続できる見込み。品種そのものの存続が危惧されているが、市場としては引き続き作付面積の維持、拡大をお願いしたい。 このほか、愛知のスナップえんどうは、令和4年から新規格としてガク無しを導入、A品同等で相場を形成し、販売が安定化し、数量も増加した。今後も新規格の販売推進にご協力いただきたい。		

※数値は、さやえんどう、きぬさやえんどう、スナップえんどうの合計値。

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋市中央卸売市場

3月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	2020年	35,876	237	239	245	227	愛知 24%
	2021年	38,309	213	218	204	217	北海道 17%
	2022年	33,504	251	258	251	245	茨城 11%
	2023年	30,623	249	261	243	244	鹿児島 10%
	2024年	32,231	278	282	273	280	徳島 7%
	5カ年平均	34,109	246	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	30,900	284	—	—	—		
菜計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/Kg
	<p>【産地状況】 愛知、北海道などから入荷する。葉茎菜類は気温の上昇とともにの生育回復し、安定した入荷が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.1%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.2%)</p>						
だいこん	2020年	1,608	118	129	111	120	千葉 41%
	2021年	2,173	78	73	81	88	愛知 36%
	2022年	2,026	102	99	119	96	鹿児島 14%
	2023年	1,728	101	91	108	108	静岡 5%
	2024年	1,658	133	129	127	150	長崎 3%
	5カ年平均	1,839	105	102	108	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	1,650	120	110	120	130		
菜計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/Kg
	<p>【産地状況】 秋冬産地終了し、千葉、愛知の春大根が中心となる。作付面積減で高めの単価が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.5%) 価格：前年をかなり下回る。(△9.8%)</p>						
にんじん	2020年	2,434	152	177	148	136	徳島 97%
	2021年	2,429	167	168	164	170	愛知 2%
	2022年	2,034	133	126	127	144	中国 1%
	2023年	1,869	174	165	172	185	長崎 1%
	2024年	1,815	282	268	288	288	
	5カ年平均	2,116	178	179	176	180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	1,900	270	280	270	260		
菜計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/Kg
	<p>【産地状況】 徳島中心で安定した出荷見通し。前段産地の愛知の切り上がりが早く、高値傾向が続く見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(4.7%) 価格：前年をやや下回る。(△4.3%)</p>						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

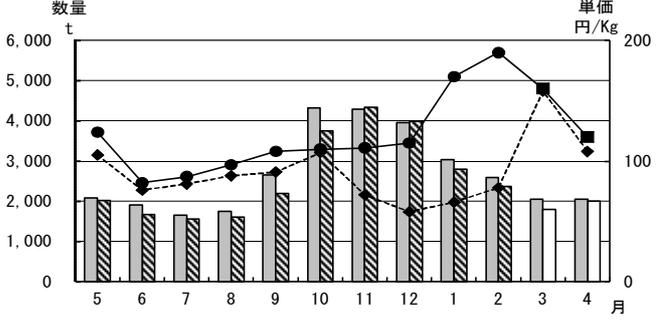
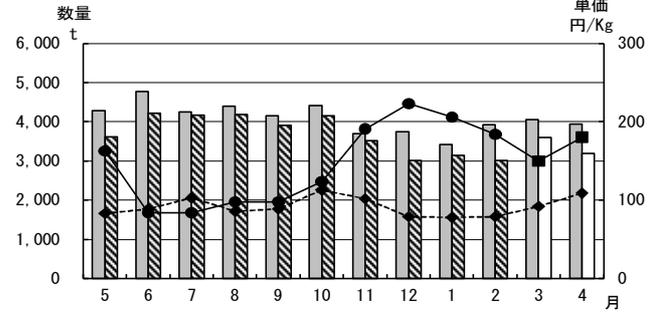
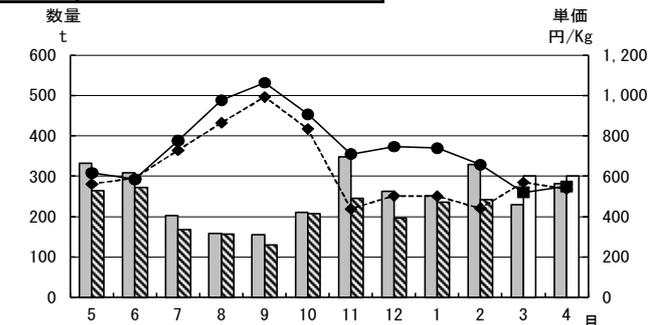
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2020年	1 2 4, 5 9 7	2 5 8	256	259	258	茨城 17%
	2021年	1 2 8, 1 0 1	2 3 5	226	236	246	千葉 14%
	2022年	1 1 8, 7 5 4	2 7 2	268	278	270	北海道 8%
	2023年	1 1 0, 6 5 3	2 7 5	271	276	258	神奈川 7%
	2024年	1 1 0, 2 5 1	3 2 1	324	319	320	愛知 6%
	5カ年平均	1 1 8, 4 7 1	2 7 1	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	1 1 6, 0 0 0	2 7 0	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 前月まで入荷量が少なく単価高であったが、天候安定により多くの品目で入荷量が増え、全体単価は平年並に落ち着く見通し。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(5.2%) 価格：前年をかなり下回る。(△15.9%)</p>					
		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 月</p> <p>■ 昨年数量 ■ 本年数量 ● 本年単価 ● 昨年単価</p>					
だいこん	2020年	9, 4 8 7	1 1 2	108	107	122	千葉 79%
	2021年	1 0, 2 0 7	6 9	59	68	84	茨城 11%
	2022年	9, 4 3 0	9 6	88	110	90	神奈川 5%
	2023年	8, 4 5 5	9 9	83	113	108	福岡 2%
	2024年	8, 0 2 6	1 3 3	131	126	144	香川 1%
	5カ年平均	9, 1 2 1	1 0 0	92	103	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	8, 1 0 0	1 2 0	110	110	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 千葉を中心に入荷する。千葉は生育が遅れ気味であるが、気温上昇と降雨により生育が進み、L・2L中心となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.9%) 価格：前年をかなり下回る。(△9.8%)</p>					
		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 月</p> <p>■ 昨年数量 ■ 本年数量 ● 本年単価 ● 昨年単価</p>					
にんじん	2020年	9, 2 6 5	1 5 8	179	154	145	徳島 79%
	2021年	8, 4 4 5	1 6 3	155	160	173	千葉 4%
	2022年	7, 3 1 5	1 2 7	118	124	136	中国 3%
	2023年	6, 8 5 1	1 7 3	160	174	191	長崎 3%
	2024年	6, 3 5 7	2 7 3	258	285	274	熊本 2%
	5カ年平均	7, 6 4 7	1 7 5	172	175	179	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	6, 4 0 0	2 5 3	240	240	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 徳島を中心に入荷する。徳島は生育順調で入荷盛期となり、潤沢な入荷が見込まれる。入荷サイズはM・L中心となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.7%) 価格：前年をかなり下回る。(△7.3%)</p>					
		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p> <p>5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 月</p> <p>■ 昨年数量 ■ 本年数量 ● 本年単価 ● 昨年単価</p>					

名古屋市中央卸売市場

3月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさいい	2020年	2,646	199	155	192	244	茨城 78%
	2021年	2,400	50	50	49	54	熊本 6%
	2022年	2,114	77	106	76	56	愛知 6%
	2023年	2,039	93	82	87	113	三重 4%
	2024年	1,957	118	129	112	120	兵庫 3%
	5ヵ年平均	2,231	110	105	106	122	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	2,000	120	120	120			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 各産地の作付けは前年並。生育も例年並で、順調な出荷を見込む。量販店の売場は気温の上昇とともに縮小するが、漬物需要は高まる予想。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.2%) 価格：前年並。(1.7%)							
キャベツ	2020年	3,846	136	106	139	158	愛知 94%
	2021年	4,569	73	63	79	79	兵庫 2%
	2022年	4,327	98	105	116	83	三重 1%
	2023年	4,249	99	95	106	101	熊本 1%
	2024年	3,856	124	121	138	138	神奈川 1%
	5ヵ年平均	4,169	105	97	114	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	3,200	180	180	180			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 4月以降の出荷は順調な見込み。業務需要があるため、まずまずの相場での推移が見込まれる。 【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に下回る。(△17.0%) 価格：前年を大幅に上回る。(45.2%)							
ほうろんそう	2020年	305	572	539	617	568	岐阜 41%
	2021年	366	465	382	526	534	茨城 38%
	2022年	271	500	458	508	533	愛知 17%
	2023年	262	582	529	617	600	静岡 2%
	2024年	319	569	560	577	573	長野 1%
	5ヵ年平均	305	535	490	567	560	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	300	550	600	550	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 上旬は関東中心。中旬以降の岐阜の高冷地物は積雪が多く、出荷が遅れる見通し。愛知の露地は中旬に終了見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△6.0%) 価格：前年をやや下回る。(△3.3%)							

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろく	2020年	6,485	188	158	187	215	茨城 98%
	2021年	6,485	41	37	41	45	長崎 1%
	2022年	5,995	77	123	73	48	
	2023年	5,307	86	79	83	112	
	2024年	5,316	113	143	99	105	
	5ヵ年平均	5,918	102	108	97	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	5,300	110	100	100	130	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 単価(円/Kg)				
い	【産地状況】 茨城を中心に入荷する。茨城は生育順調で、上中旬に春作が入荷盛期となり、潤沢な入荷が見込まれる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.3%) 価格：前年をわずかに下回る。(△2.7%)						
キャベツ	2020年	17,728	139	121	137	164	神奈川 45%
	2021年	19,917	70	60	73	78	愛知 32%
	2022年	19,358	106	111	121	88	千葉 18%
	2023年	17,438	106	99	111	113	群馬 2%
	2024年	16,140	147	132	154	154	茨城 2%
	5ヵ年平均	18,116	112	103	118	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	16,100	130	120	120	150	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 単価(円/Kg)				
つ	【産地状況】 神奈川、愛知等を中心に入荷する。神奈川は上旬から入荷盛期となる。愛知も潤沢な数量となり、夏作の入荷が始まる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.2%) 価格：前年をかなり下回る。(△11.6%)						
ほうろ	2020年	1,260	559	545	591	545	茨城 45%
	2021年	1,421	428	348	532	430	群馬 40%
	2022年	1,322	468	447	484	472	埼玉 6%
	2023年	1,232	529	522	573	398	栃木 4%
	2024年	1,528	502	478	540	485	千葉 3%
	5ヵ年平均	1,353	495	465	543	466	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	1,500	480	470	470	500	
ん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t) 単価(円/Kg)				
そ	【産地状況】 茨城、群馬を中心に入荷する。茨城は概ね生育順調。群馬は干ばつの影響で生育遅れが見られたが、前年並の入荷量を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.8%) 価格：前年をやや下回る。(△4.4%)						
う							

名古屋市中央卸売市場

3月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2020年	716	400	381	397	423	大分 38%
	2021年	686	461	409	458	525	静岡 9%
	2022年	755	384	374	375	401	群馬 8%
	2023年	712	365	333	361	407	愛知 8%
	2024年	711	443	443	437	440	茨城 7%
	5カ年平均	716	410	388	405	438	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	700	440	440	440	440		
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 愛知の越津は終盤。新ねぎ出揃いで増量傾向。大分は新ねぎの端境期となり少なめで推移。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.5%) 価格：前年並。(△0.7%)</p>						
しそ	2020年	1,669	240	208	244	272	茨城 42%
	2021年	1,976	148	130	152	168	兵庫 35%
	2022年	2,003	187	204	223	152	長野 7%
	2023年	1,788	203	201	211	197	愛知 4%
	2024年	1,768	276	264	271	291	熊本 3%
	5カ年平均	1,841	208	200	218	213	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	1,760	280	270	280	290		
しそ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 茨城は面積減。気温上昇に伴い、生育が進み、順調な入荷が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.5%) 価格：前年並。(1.4%)</p>						
きゅうり	2020年	1,769	275	301	288	245	愛知 50%
	2021年	1,934	260	266	268	249	群馬 19%
	2022年	1,610	269	263	255	288	宮崎 11%
	2023年	1,428	311	329	306	297	高知 8%
	2024年	1,374	370	368	374	367	鹿児島 5%
	5カ年平均	1,623	293	301	294	284	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	1,400	330	330	330	330		
きゅうり	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 気温の上昇とともに増量するが、促成冬春産地は定植時の根の張りが悪く、大きな増量は見込めない。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.9%) 価格：前年をかなり下回る。(△10.8%)</p>						

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)	
			上 旬	中 旬	下 旬		
ね ぎ	2020年	4, 0 9 2	3 3 9	329	298	394	千葉 33%
	2021年	3, 7 1 9	4 9 0	448	508	518	茨城 21%
	2022年	4, 2 9 7	3 4 6	337	341	358	埼玉 19%
	2023年	3, 8 4 2	3 5 8	326	340	419	栃木 8%
	2024年	3, 9 3 1	4 0 9	409	396	423	群馬 6%
	5ヵ年平均	3, 9 7 6	3 8 6	368	374	420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	3, 5 0 0	5 6 0	550	550	580		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)		単価(円/Kg)			
【産地状況】 千葉、茨城等を中心に入荷する。千葉は干ばつの影響で生育の遅れが見られるが、気温上昇と降雨により回復基調となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△11.0%) 価 格：前年を大幅に上回る。(36.9%)							
し た す	2020年	5, 7 5 5	2 1 9	194	227	240	茨城 63%
	2021年	7, 0 2 2	1 3 3	115	142	150	兵庫 9%
	2022年	6, 8 7 0	1 7 6	186	203	145	群馬 6%
	2023年	6, 2 8 7	1 8 9	185	201	177	福岡 4%
	2024年	6, 1 7 7	2 7 5	290	266	271	香川 4%
	5ヵ年平均	6, 4 2 2	1 9 6	192	206	194	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	6, 0 0 0	1 9 0	200	170	200		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)		単価(円/Kg)			
【産地状況】 茨城を中心に入荷する。茨城は概ね生育順調で、上中旬に入荷盛期となるため、安定した入荷が見込まれる。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.9%) 価 格：前年を大幅に下回る。(△30.9%)							
き ゆ う り	2020年	6, 9 3 2	2 8 8	324	296	251	群馬 28%
	2021年	7, 4 1 7	2 6 6	283	271	245	埼玉 23%
	2022年	6, 7 2 6	2 7 5	280	268	279	宮崎 16%
	2023年	6, 3 7 0	3 1 2	344	308	295	千葉 11%
	2024年	6, 1 2 2	3 8 4	389	401	361	茨城 9%
	5ヵ年平均	6, 7 1 3	3 0 3	322	306	284	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	6, 1 0 0	3 3 0	350	320	320		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)		単価(円/Kg)			
【産地状況】 群馬、埼玉等を中心に入荷する。各産地とも概ね生育順調。中旬から数量が増え、順調な入荷が見込まれる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.4%) 価 格：前年をかなり下回る。(△14.1%)							

名古屋市中央卸売市場

3月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)	
			上 旬	中 旬	下 旬		
な	2020年	793	376	372	373	383	熊本 52%
	2021年	781	352	352	351	354	愛知 43%
	2022年	814	320	328	322	314	高知 3%
	2023年	647	358	344	367	369	宮崎 1%
	2024年	592	412	388	426	413	
な	5カ年平均	725	361	355	364	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
な	2025年見通し	640	400	400	400		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 良いナスの日(4/17)にあわせて各量販店からの引き合い強まる。下旬はGWに向けてやや上げ相場が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(8.1%) 価 格：前年をわずかに下回る。(△2.9%)</p>						
ト	2020年	1,267	356	406	355	319	熊本 54%
	2021年	1,559	291	305	284	288	愛知 16%
	2022年	1,346	324	342	340	301	岐阜 15%
	2023年	1,217	363	390	356	345	三重 14%
	2024年	1,339	391	467	368	356	
ト	5カ年平均	1,346	343	379	338	320	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ト	2025年見通し	1,320	360	360	360		
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 3月の気温上昇に伴い生育が回復し、平年並の入荷が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.4%) 価 格：前年をかなり下回る。(△7.9%)</p>						
ミ	2020年	542	646	721	654	580	熊本 72%
	2021年	754	544	559	526	542	愛知 22%
	2022年	729	593	622	604	565	和歌山 3%
	2023年	606	613	661	613	565	宮崎 2%
	2024年	636	703	797	702	624	
ミ	5カ年平均	653	616	665	615	574	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ミ	2025年見通し	630	620	650	600	600	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 生育順調。中旬以降、入荷量は増加する。荷動きは停滞気味のため、積極的な売り込みが必要。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.9%) 価 格：前年をかなり下回る。(△11.8%)</p>						

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)		
			上 旬	中 旬	下 旬	(愛知産比率)		
な	2020年	3, 3 7 3	4 4 3	440	441	448	高知 53%	
	2021年	3, 6 3 6	4 1 3	408	424	408	福岡 20%	
	2022年	3, 9 9 3	3 4 3	350	331	349	熊本 8%	
	2023年	3, 0 6 6	4 2 3	413	455	403	群馬 7%	
	2024年	3, 0 0 5	4 6 8	468	491	448	栃木 4%	
	5ヵ年平均	3, 4 1 5	4 1 4	412	423	408	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	3, 0 0 0	4 5 0	430	490	430		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)	
	<p>【産地状況】 高知を中心に入荷する。高知、福岡の着花数は増加しており、天候が安定すれば上旬に入荷量が増える見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.2%) 価 格：前年をやや下回る。(△3.8%)</p>							
ト	2020年	6, 1 3 2	4 1 2	454	407	377	熊本 32%	
	2021年	7, 3 4 6	3 3 5	348	323	334	栃木 28%	
	2022年	6, 8 0 8	3 7 0	381	384	351	愛知 11%	
	2023年	5, 8 2 9	4 0 8	433	400	337	茨城 6%	
	2024年	6, 0 5 2	4 3 3	499	410	404	埼玉 5%	
	5ヵ年平均	6, 4 3 3	3 8 9	419	382	360	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	6, 0 0 0	3 8 0	420	360	360		
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)	
	<p>【産地状況】 熊本、栃木等を中心に入荷する。各産地とも概ね生育順調。大玉割合と入荷量は気温上昇とともに漸増する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.9%) 価 格：前年をかなり下回る。(△12.2%)</p>							
ミ	2020年	2, 0 8 7	6 0 4	661	610	546	熊本 44%	
	2021年	2, 3 6 5	5 1 4	528	504	509	愛知 16%	
	2022年	2, 2 7 8	5 7 9	615	592	544	千葉 12%	
	2023年	2, 0 9 5	6 2 5	669	615	585	宮崎 9%	
	2024年	2, 0 6 0	6 8 5	761	681	623	静岡 7%	
	5ヵ年平均	2, 1 7 7	5 9 9	643	598	560	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2025年見通し	2, 1 0 0	6 6 0	700	660	620		
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)	
	<p>【産地状況】 熊本、愛知等を中心に入荷する。各産地とも概ね生育、着果ともに順調。入荷量は気温上昇とともに漸増する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.9%) 価 格：前年をやや下回る。(△3.6%)</p>							

名古屋市中央卸売市場

3月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2020年	612	631	604	627	613	鹿児島 50%
	2021年	712	443	492	430	434	茨城 20%
	2022年	636	429	436	435	439	宮崎 19%
	2023年	533	547	529	549	591	高知 11%
	2024年	536	695	729	711	703	
	5ヵ年平均	606	541	551	542	546	
	2025年見通し	600	550	550	550	550	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 各産地、気温の上昇とともに入荷量は増加する。下旬に向けてピークとなる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(11.9%) 価格：前年を大幅に下回る。(△20.9%)							
ばれいしょ	2020年	3,439	187	215	173	181	鹿児島 87%
	2021年	2,890	309	289	316	313	北海道 9%
	2022年	2,736	257	235	274	255	長崎 4%
	2023年	2,213	255	245	321	210	
	2024年	2,798	199	211	198	190	
	5ヵ年平均	2,815	239	238	250	229	
	2025年見通し	2,500	240	260	240	220	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 鹿児島、長崎は生育が遅れ気味。長崎は下旬からの出荷となる。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.7%) 価格：前年を大幅に上回る。(20.6%)							
たまねぎ	2020年	7,506	63	70	64	59	北海道 74%
	2021年	7,771	72	82	69	68	愛知 21%
	2022年	5,071	198	244	154	219	静岡 1%
	2023年	5,636	104	126	98	99	兵庫 1%
	2024年	6,424	113	125	110	111	中国 1%
	5ヵ年平均	6,482	103	121	94	103	
	2025年見通し	6,100	110	120	110	100	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 北海道はL大、L中心で残量は多くない。愛知は干ばつの影響で生育が遅れ、作柄も前年の70%程度を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.0%) 価格：前年をわずかに下回る。(△2.7%)							

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2020年	2, 399	648	650	650	646	茨城 51%
	2021年	2, 530	480	513	470	457	宮崎 25%
	2022年	2, 519	487	483	490	489	高知 12%
	2023年	2, 399	591	547	586	663	鹿児島 10%
	2024年	2, 413	722	747	712	708	沖縄 1%
	5ヵ年平均	2, 452	584	586	580	590	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	2, 450	600	620	590	590	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p>				
	【産地状況】 茨城を中心に入荷する。茨城は出荷最盛期となるが、曇天での花落ちによる入荷量への影響が懸念される。						
	【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.5%) 価格：前年を大幅に下回る。(△16.9%)						
ばれいしょ	2020年	10, 013	158	161	150	163	鹿児島 62%
	2021年	7, 491	301	294	299	309	北海道 27%
	2022年	6, 855	255	236	269	257	長崎 12%
	2023年	6, 996	204	214	219	214	
	2024年	7, 824	179	173	179	186	
	5ヵ年平均	7, 836	215	211	217	221	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	7, 800	200	220	190	190	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p>				
	【産地状況】 鹿児島を中心に入荷する。各産地の入荷が重なり荷動きが鈍くなると予想される。入荷サイズはL中心となる見込み。						
	【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.3%) 価格：前年をかなり上回る。(11.7%)						
たまねぎ	2020年	14, 258	59	70	64	48	北海道 56%
	2021年	13, 656	79	82	74	81	佐賀 35%
	2022年	9, 173	274	245	243	334	中国 2%
	2023年	12, 622	110	119	107	98	静岡 2%
	2024年	10, 819	142	145	143	137	長崎 2%
	5ヵ年平均	12, 106	122	123	116	125	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	10, 500	140	140	140	140	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p>				
	【産地状況】 北海道を中心に入荷する。北海道は月末に入荷終了、佐賀は中旬から入荷量が漸増する見込み。						
	【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.9%) 価格：前年並。(△1.4%)						

名古屋市中央卸売市場

3月13日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2020年	7, 243	415	433	402	420	フィリピン 23%
	2021年	6, 926	459	464	473	454	熊本 17%
	2022年	6, 871	448	453	448	446	青森 16%
	2023年	6, 464	516	526	506	483	愛知 11%
	2024年	6, 464	516	526	506	483	三重 6%
	5ヵ年平均	6, 794	469	—	—	—	
2025年見通し	6, 100	480	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 いちご、りんごなどが主な品目となる。りんごは昨年より在庫が多く、価格は下げ基調。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.6%) 価格：前年をかなり下回る。(△7.0%)</p>						
いちご	2020年	706	1,171	1,199	1,188	1,139	愛知 69%
	2021年	824	1,042	1,049	1,012	1,067	熊本 18%
	2022年	735	1,091	1,118	1,094	1,065	鹿児島 5%
	2023年	693	1,108	1,107	1,117	1,102	福岡 3%
	2024年	715	1,270	1,343	1,246	1,184	佐賀 3%
	5ヵ年平均	735	1,133	1,160	1,128	1,110	
2025年見通し	700	1,150	1,150	1,150	1,150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 九州産は前年並。3番果が連続しており、上旬までは安定入荷。中旬以降は入荷量の減少が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.1%) 価格：前年をかなり下回る。(△9.4%)</p>						
その他 メロン (アールスメロンを除く)	2020年	201	530	612	577	503	熊本 79%
	2021年	160	521	537	551	556	鹿児島 12%
	2022年	177	603	644	629	590	メキシコ 3%
	2023年	142	632	709	708	571	その他 1%
	2024年	156	692	910	682	697	長崎 1%
	5ヵ年平均	167	591	676	625	579	
2025年見通し	140	700	900	700	650	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 冬の気温が例年並に寒かったため、昨年よりは出荷が遅れ、下旬がピークとなる。作付面積減により入荷量は減少の見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.3%) 価格：前年並。(1.2%)</p>						

東京都中央卸売市場

3月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2020年	23,649	502	512	503	490	熊本 19%
	2021年	28,060	467	494	452	450	青森 18%
	2022年	23,953	547	547	554	541	栃木 12%
	2023年	23,283	533	533	539	527	愛媛 10%
	2024年	21,752	628	652	614	618	茨城 6%
	5ヵ年平均	24,139	531	—	—	—	
2025年見通し	21,000	650	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 かんきつ類、いちご、りんごを中心に入荷する。かんきつ類は夏場の高温が影響し、不作の品目が多い。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.5%) 価格：前年をやや上回る。(3.5%)</p>						
いちご	2020年	4,104	1,156	1,172	1,140	1,151	栃木 51%
	2021年	5,055	1,016	1,070	969	984	茨城 12%
	2022年	4,655	1,140	1,180	1,148	1,096	福岡 12%
	2023年	4,309	1,137	1,163	1,137	1,100	静岡 8%
	2024年	4,854	1,203	1,289	1,185	1,115	佐賀 5%
	5ヵ年平均	4,595	1,128	1,174	1,113	1,086	
2025年見通し	4,800	1,200	1,290	1,190	1,120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 栃木を中心に茨城、福岡などから入荷する。4番果が増えてくるが、暖候期に入るため、品質重視の出荷となる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.1%) 価格：前年並。(△0.2%)</p>						
その他メロン (アールスメロンを除く)	2020年	648	530	650	559	497	熊本 34%
	2021年	939	587	706	606	550	宮崎 2%
	2022年	701	667	831	706	630	長崎 1%
	2023年	605	703	837	739	652	高知 1%
	2024年	626	767	848	783	734	
	5ヵ年平均	704	644	768	672	606	
2025年見通し	605	780	840	770	730	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本から、アンデス、クインシー、茨城からオトメが入荷する。各産地とも天候に恵まれ、生育は順調。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.4%) 価格：前年並。(1.7%)</p>						

切花・鉢花の4月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月31日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
輪 ぎ	実績	2020年	1, 179	27		
		2021年	1, 261	33		
		2022年	1, 066	59		
		2023年	956	56		
		2024年	1, 084	44		
	概	5ヵ年平均		1, 109		43
		2025年見通し		1, 000		40
概要	愛知中心の入荷。上旬は入荷量少なめ、中旬からは入荷量が増えてくる見込み。下旬からはGW、母の日参りの需要が期待される。					
小 ぎ	実績	2020年	824	21		
		2021年	924	23		
		2022年	856	34		
		2023年	800	30		
		2024年	622	32		
	概	5ヵ年平均		805		28
		2025年見通し		650		30
概要	沖縄からの入荷。上旬から中旬にかけて入荷量は少ない見込み。下旬からはGW、母の日参りの需要が期待される。					
カー ネー シ ョ ン	実績	2020年	996	32		
		2021年	1, 166	54		
		2022年	1, 272	62		
		2023年	1, 056	51		
		2024年	1, 077	46		
	概	5ヵ年平均		1, 113		50
		2025年見通し		1, 100		45
概要	愛知中心の入荷。3月後半の暖かさもあり、上旬は潤沢な入荷予想。後半4週目頃からは母の日を意識した販売になる見込み。					
か す み	実績	2020年	161	55		
		2021年	202	69		
		2022年	215	85		
		2023年	152	91		
		2024年	182	70		
	概	5ヵ年平均		182		74
		2025年見通し		180		70
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷となる。3月に出荷の谷となった和歌山県産が増えてくる見込み。大きな需要はないため、相場は弱含みが予想される。					

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	2020年	231	123	
		2021年	258	160	
		2022年	230	173	
		2023年	226	173	
		2024年	213	190	
	5カ年平均		232	163	
	2025年見通し		210	190	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉からの入荷。中旬は年末の返しとなる分が出荷され、数量は多くなる見込み。鉄砲は生産減少で、相場の大きな崩れはないと予想される。</p>				
洋 ら ん	実績	2020年	206	88	
		2021年	272	97	
		2022年	257	141	
		2023年	229	105	
		2024年	256	118	
	5カ年平均		244	111	
	2025年見通し		250	110	
概要	<p>愛知、徳島、静岡、鹿児島等の国産品に加え、輸入品が入荷する。オンシジウムはこれから減少する見込み。デンファレはソニア中心で、アンナは減少し、シンピジウムは国産品が徐々に減少する見込み。コチョウランは国産、輸入とも増加傾向。カトレアも徐々に増加していく。</p>				
ば ら	実績	2020年	505	56	
		2021年	630	80	
		2022年	740	82	
		2023年	694	71	
		2024年	692	74	
	5カ年平均		652	73	
	2025年見通し		700	70	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、山形、長野から入荷。3月後半からの暖かさで上旬は潤沢な入荷となる。前半は軟調な販売が予想されるも、中旬以降品種の波はあるが前年並の入荷が予想される。</p>				
枝 も の	実績	2020年	835	49	
		2021年	1,215	59	
		2022年	1,262	65	
		2023年	1,045	61	
		2024年	1,090	65	
	5カ年平均		1,089	60	
	2025年見通し		1,000	60	
概要	<p>中旬頃からドーダンが始まる。下旬には姫リョウブ等も始まり、初夏の雰囲気になる。新芽、新葉の時期になるため、枝物全般に若干入荷は少なめで推移する。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カ ラ ー	実績	2020年	36,659	430	
		2021年	22,158	704	
		2022年	23,520	755	
		2023年	15,723	694	
		2024年	19,997	693	
	5ヵ年平均		23,611	626	
	2025年見通し		19,450	700	
概要	<p>入荷量は前年並か。5号鉢中心に中旬より徐々に入荷が増え始め、下旬以降に出荷のピークとなる。 例年通り花立の良いピンク・キイロ系に人気が集まり、母の日需要が高まる下旬より引き合いも強くなる見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野（42.3%）、2位埼玉（24.7%）、3位新潟（11.0%）となっている。</p>				
フ ォ ア レ ッ プ シ ス	実績	2020年	46,450	1,932	
		2021年	43,621	3,026	
		2022年	41,940	2,952	
		2023年	29,682	3,792	
		2024年	32,110	3,559	
	5ヵ年平均		38,761	2,954	
	2025年見通し		32,000	3,569	
概要	<p>入荷量は前年並か。前年、大輪の相場が厳しかった影響で減少する見込みだが、ミディは前年並の見込み。 資材高騰の影響により、生産者からの出荷単価は若干上がる見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（57.2%）、2位宮崎（8.1%）、3位熊本（5.6%）となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実績	2020年	77,118	204	
		2021年	83,593	258	
		2022年	83,552	246	
		2023年	62,415	222	
		2024年	66,057	257	
	5ヵ年平均		74,026	238	
	2025年見通し		66,000	257	
概要	<p>入荷量は概ね前年並か。生産流通コストの上昇で作付け減の傾向は変わらないが、4月からは小鉢主体に順調に入荷し、中値安定相場となる予想。 入荷量増加とともに価格は下がる見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（49.2%）、2位岐阜（32.1%）、3位千葉（8.7%）となっている。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ン ジ ア	実 績	2020年	2 2 3, 3 5 9	8 5 3	
		2021年	2 5 8, 7 2 8	9 3 9	
		2022年	2 6 0, 0 6 7	9 0 8	
		2023年	1 4 8, 1 1 9	8 2 9	
		2024年	1 9 6, 3 2 2	9 6 2	
	5ヵ年平均	2 1 7, 3 1 9	9 0 3		
	2025年見通し	1 9 6, 0 0 0	9 6 4		
	概要	<p>入荷量は前年並か。母の日が前年より早いので、4月下旬からの出荷も増える。天候による生産ロスや出荷遅れもあると思われるが、出荷ピークは4月末から5月初旬に変わりはない。</p> <p>5号サイズが入荷の中心だが、4号や4.5号サイズの生産が増産傾向である。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（57.1%）、2位群馬（11.4%）、3位埼玉（9.1%）となっている。</p>			
ス パ テ イ フ イ ラ ム	実 績	2020年	2 0, 6 6 1	3 6 5	
		2021年	1 7, 5 5 2	4 4 7	
		2022年	1 7, 0 0 7	4 9 1	
		2023年	1 2, 8 8 4	5 1 1	
		2024年	1 3, 7 0 9	4 8 1	
	5ヵ年平均	1 6, 3 6 3	4 5 1		
	2025年見通し	1 2, 0 0 0	5 0 0		
	概要	<p>入荷量は前年より減少する見込み。規格は3号から4号中心の入荷がメインとなる。資材・燃料費高騰など、生産環境が厳しくなっている。</p> <p>気温によっては凍傷が懸念されるため4月上旬の気温次第では出荷を遅らせる可能性もある。生産数量が少ない中で需要期に対する開花調整も難しく、注文の比率が上がることで平均単価は前年並かやや上昇かと予想される。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重（41.3%）、2位静岡（31.4%）、3位愛知（14.7%）となっている。</p>			
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	2020年	1 3 3, 0 4 1	3 4 9	
		2021年	1 4 4, 0 8 0	4 3 7	
		2022年	1 6 7, 5 1 8	4 9 6	
		2023年	5 3, 7 1 1	4 4 0	
		2024年	1 0 2, 5 4 5	4 0 5	
	5ヵ年平均	1 2 0, 5 1 9	4 2 8		
	2025年見通し	1 0 2, 0 0 0	4 0 7		
	概要	<p>入荷量は前年より減少する見込み。2月の寒波の影響で生育遅れ気味と思われるが、4月の天候が良ければ下旬頃よりまとまった出荷も始まる見込み。引き合いは前年に続き、弱含みでの見込み。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（42.2%）、2位群馬（20.7%）、3位埼玉（11.1%）となっている。</p>			

お知らせ

2001年度から発行している「あいち農産物生産流通レポート」では、「本県産青果物の動向」及び「青果物及び花きの流通動向見通しと産地概況」にかかる情報の提供をしてきましたが、2025年5月号より、名古屋市中央卸売市場における「本県産青果物の動向」及び名古屋市及び東京都中央卸売市場における「青果物の流通動向見通しと産地概況」にかかる情報の掲載を取りやめることとしました。

その理由といたしましては、各市場のホームページ等において、詳細・正確な青果物の見通しが公表されており、県内関係者が利用できる状態になっているためです。

一方、本県産農産物の3割が出荷される東京都中央卸売市場における本県産農産物の動向につきましては、競合産地の情報をより詳細に情報提供する等、内容を充実させてまいります。

また、「情報サロン」等の記事はテーマ毎に区分して情報提供していましたが、「県内関係機関」、「農林水産事務所」、「東京事務所」と執筆者毎に整理することとしました。

以上のように、2025年5月号から構成を大きく変更して情報発信していきますので、引き続きよろしくお願いたします。

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課



あいち農産物生産流通レポート No.622
2025年4月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434